

合格に直結する

TACのオリジナル教材

TACの教材は毎年改訂

法改正や本試験の傾向と対策を
反映して作成しています

※教材の写真は、一部2024年目標版を掲載しています。2025年合格目標は、
デザインや内容が異なる場合がございますので、予めご了承ください。

TACの教材は、毎年、短答・論文式試験の出題傾向と今後の対策を分析し、改訂して作成されます。また、カリキュラムに沿った学習順序で理解がより促進するような内容になっており、初学者の方でも安心して学習することができます。本試験の出題実績に応じて重要度も明記してあるため、メリハリをつけて学習することができます。TACの教材で学習することにより、最短距離で弁理士試験合格に必要な知識を習得することができます。



① 基本講義テキスト(体系編) ELEMENTS



合格に必要な知識を
まとめた初学者用の
インプット教材です。

② 基本講義テキスト(逐条編)



短答と論文を同時に
学習できるインプット
教材です。

③ 基本講義テキスト(論文編)



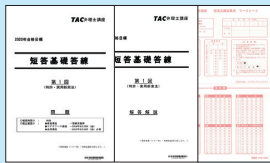
論文を作成するにあたっての
基本的なマナーからどのよう
な出題形式にも対応できる
論文作成のノウハウを習得
できる教材です。

④ 各種過去問題集



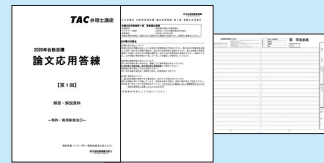
短答と論文の
過去問題集で
す。
※短答本科生には、
論文式過去
問題集はつきま
せん。

⑤ 短答答練



本試験同様にマーク
シートを使用した
短答対策用の答
練です。実施後
には、マイページ
上に成績表が掲載
されます。

⑥ 論文答練



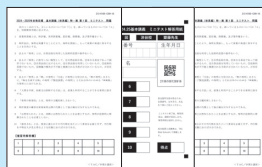
本試験に準じた問題
用紙、答案用紙を使用
した論文対策用の
答練です。実施後
には、赤入れ添削した
答案をマイページ上
に掲載します。

⑦ 短答式・論文式全国公開模試



本試験と同一形式、
同一時間で実施する
模擬試験です。
マイページ上に
個人別成績表や
総合成績表が
掲載されます。

⑧ ミニテスト



基本講義(体系編・
逐条編)では、知識の
定着を図るため、ミニ
テストを行います。
※使用教材は予定です。変
更になる場合がございます
ので、予めご了承ください。

⑨ 基本講義テキスト(民法)・法文集



選択科目の民法を突破する
ためのテキストです。法文
集は本試験で配付される法
文集を再現しています。
※民法トータルバックをご受講した
方のみつきます。
※民法トータルバックは別途お申込み
が必要です。

TAC弁理士講座

合格者の声

合格者もTACの教材をお勧めしています!



「ELEMENTS」を大に押します。条文の順番にとらわれず、一つのテーマに関連する知識が要領よくまとまった構成となっており、復習の際にも、一つのテーマから出発して、関連する条文を思い出す練習として非常に役立ちました。このために、口述直前の復習でも、私は「ELEMENTS」をフル活用しました。また逐条編で使用される逐条テキストは完璧です。合格に必要な知識が、過不足なく記載されており、完成度が非常に高いです。特に、意匠・商標では、条文だけではやや不十分ですが、一方、膨大な審査基準、青本記載や判例を漠然として勉強していくとキリがありません。その点において、逐条編テキストは試験に必要な分だけ厳選したうえで、解説してくれる点が非常に助かります。

李 思明さん



「ELEMENTS」は、条文だけではイメージにくい内容でも、図や表を繰り返し見ながら理解しやすくとめられています。また、基本書という位置付けではありますが、青本から抜粋した制度趣旨や重要判例も紹介されているため、論文対策を始めるタイミングでも大いに活用できました。「基本講義テキスト(逐条編)」は、試験に出るポイントが網羅されており重宝しました。青本や判例集を開かずとも、このテキストに書いてあることだけを繰り返し読んで理解するだけで、合格に必要な知識は十分身につくと思います。また、条文ごとに重要度が星の数で示されており、どの条文を重点的に学ばなければならないかがひと目でわかるので効率よく学習を進めることができました。

布施 健太さん



「基本講義テキスト(逐条編)」は、短答から論文、口述試験までずっとお世話になりました。要件が箇条書きになっていて分かりやすく、また、趣旨や判例が関連する条文毎に書かれているので、逐条的な解説集でありながら、関連する知識を網羅的に身につけることができる良質なテキストだと思います。すべての条文に重要度が記載されており、復習する際に効率よく見直せる点も良かったです。

嶋根 智美さん



「基本講義テキスト(逐条編)」に関しては、最初は正直とっつきづらかったですが、ある程度知識がついて読み返してみると、試験勉強に必要な重要なポイントが凝縮されていると思いました。また、論文の答練の問題が豊富で、毎回答練を受けて復習をすることで、広い知識を身につけることができました。短答、論文の答練で出た問題が、本試験でも出たので、各答練を受けることで合格につながったと思います。

山田 朋範さん